

警察庁がまとめた2019年の特殊詐欺の認知・検挙状況によると、認知件数は1万6851件、被害額は315億8293万8000円で、昨年比減少しました。しかし、依然として高水準の被害が発生しています。

被害者については高齢者が83.7%、オレオレ詐欺では女性が84.4%でした。男女とも70歳以上が最も多くなっています。特殊詐欺犯人がかたる身分は、2017年では子や

## 特殊詐欺の発生状況

孫など親族が半数以上を占めていたが、2019年は警察官や銀行員など親族以外が65.2%でした。

今年3月からは、新型コロナウイルス感染症に関する特殊詐欺事件が多発しています。融資や特別定額給付金を

名目にだますほか、親族を装い治療費名目でだまし取るなどの手口です。こうした詐欺には十分に注意してください。

防犯一口メモ